

科目名	行政論特講	担当者	セキネ 関根 フミオ 二三夫	期間	通年	単位数	4
-----	-------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	20世紀に入り顕著になってきた行政の多様化・複雑化に伴う行政国家化は、議会政治との軋轢を生じさせることになりました。行政が持つ制度面や機能面の特徴を国家との関連において把握し、国家と行政が如何なる関係にあるかを学びます。		
到達目標	国家概念を明確にし、19世紀から20世紀にかけて国家と社会とが如何に変遷してきたかを理解します。国家については、立法国家から行政国家へ、また社会については、市民社会から大衆社会へと変化して来ましたが、それぞれの特徴を把握します。また、20世紀における行政機能の増大が、行政部と立法部との政策立案や政策決定をめぐる軋轢を生じさせましたが、シュタイン理論を中心に、国家において行政が如何なる存在であるかを理解します。		
学修方法	テキスト学修を基本に、メールを用いた質疑を行います。受講生の行政に関する問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するよう進めて行きます。		
スケジュール	大学院が指定します提出期限までに課題についてのレポートを提出願いますが、提出期限までに草稿を提出していただきまして、何度かやり取りをしたいと考えております。また、夏学期間に面接授業を行いたいと思います。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70 %	履修上のポイントや到達目標、レポート課題の留意点を参考に評価致します。
	平常評価	30 %	質疑や添削草稿への対応を中心に評価いたします。
履修者への要望	内閣や大統領を頂点とする行政部で、どのようなことが行われているか、また、内閣や大統領と議会との関係はどのようになっているのかなどを、メディアの報道や記事などを参照して考え、問題点を把握するように心掛けて下さい。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 関根二三夫，岩井奉信，黒川貢三郎，杉山逸男，外山公美，松木修二郎 教材名： 『教養政治学』（南窓社，2013年）ISBN:978-4-81-650187-6 2,900円+税
	政治学の研究対象は広範囲に及びます。本書は、一般教養の政治学として執筆されたものでありますが、現代の政治現象を理解する上に必要な内容を含むものです。政治学の沿革、政治権力、国家と政府、政治過程、選挙と投票行動、政治と世論などが含まれています。国家に生起する政治現象の理解が必要になると思われます。
参考図書	山田光矢編『政治学』（弘文堂，2011年）ISBN:978-4-33-500192-5 2,000円+税
履修上のポイント	国家に生起する現象を政治面や社会面から把握することで、国家を立体的に理解することが可能になると思われます。国家を成立させる要素を伝統的に考えれば、国民、領域、主権があります。それらの要素には、人間が係わりを有しており、政治現象や社会現象を理解することが必要になります。 現代国家において、個人は国家を離れて生活することが不可能に思われます。国家に生起する問題の理解が重要です。
レポート課題 1	近代国家の成立と発展について述べよ。 <b>留意点：</b> 近代市民社会から大衆社会への変化において、国家の機能が如何に変遷してきたかを考察して欲しいと思われます。
レポート課題 2	国家と社会との関係について述べよ。 <b>留意点：</b> 一元的国家論と多元的国家論との違いについて考察して欲しいと思われます。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 西尾勝 教材名： 『行政学』（有斐閣，2001年）ISBN: 978-4-64-104977-2 3,100円+税
	本書は、行政の制度を中心に、管理や政策に重点を置いて述べています。国家行政や地方行政が円滑に遂行されるためには行政の諸局面を考慮しなければなりません。行政と行政学の背景、行政制度の構造、行政過程の展開、行政管理の充実、行政統制の推進等がその内容になっています。
参考図書	外山公美編『行政学』（弘文堂，2011年）ISBN:978-4-33-500195-6 2,400円+税
履修上のポイント	行政概念については、憲法、行政法、行政学などからの把握が可能です。三権分立的控除説や国家目的実現説などの法的把握以外に、行政過程説や統治機能説など行政学的把握があります。行政学において行政概念がどのように把握されているか、また概念の把握にいたる過程がどのようなものであるかを、行政の諸局面を考察しながら考えて欲しいと思われます。
レポート課題 1	ロレンツ・フォン・シュタインの行政学について述べよ。 <b>留意点：</b> シュタイン行政学は、ドイツ官房学を集大成し、行政法学への道を拓いたといわれます。シュタイン行政学が成立する背景、国家と行政との関係や行政学の内容、行政法学が台頭する理由などを考えて欲しいと思われます。
レポート課題 2	現代国家と行政統制について述べよ。 <b>留意点：</b> 19世紀の立法国家から20世紀の行政国家への移行は、行政府の政策立案機能や政策決定機能を増大させました。行政府を外在的に、また内在的に統制して行政の民主化を確保し、行政責任を明確にすることが必要です。